

宇治駅周辺地区交通バリアフリーワークショップ 活動のきろく

平成17年11月～平成18年9月

宇治駅周辺地区交通バリアフリーワークショップ

目 次

1 . ワークショップ開催の目的	1
2 . 実施概要	1
3 . 宇治駅周辺地区の課題について	2
3-1 取り組み概要	2
3-2 話し合いのまとめ	2
4 . 宇治駅周辺地区の主要な施設と経路の抽出	5
4-1 取り組み概要	5
4-2 話し合いのまとめ	5
5 . 宇治駅周辺地区の点検調査	8
5-1 取り組み概要	8
5-2 話し合いのまとめ	8
6 . 来訪者からみた宇治駅周辺地区調査	12
6-1 取り組み概要	12
6-2 観光客アンケート	12
6-2-1 観光客アンケートの概要	12
6-2-2 観光客アンケートのまとめ	12
6-3 観光客タウンウォッチング	14
6-3-1 観光客タウンウォッチングの概要	14
6-3-2 観光客タウンウォッチングのまとめ	14
7 . 宇治駅周辺地区の交通バリアフリーに市民が協力できること	15
7-1 取り組み概要	15
7-2 話し合いのまとめ	15

1 . ワークショップ開催の目的

一般的にワークショップとは、地域にかかわる諸問題に対応するため、さまざまな立場の参加者が交流や共同作業を通じて、地域の課題発見、創造的な解決策の考察、それらの評価などを行っていく活動のことをいいます。

このたび、『宇治駅周辺地区交通バリアフリー基本構想』を策定するにあたり、市民の皆さまの様々なご意見を反映させるために『宇治駅周辺地区交通バリアフリーワークショップ』が開催されました。このワークショップでは、地域の課題や解決策を検討するとともに、「こころのバリアフリー」のモデル地区となるような具体的な取り組みを検討してきました。

2 . 実施概要

ワークショップは高齢者や身体に障がいのある人、子育て世代の方などを含む公募市民 43 名により構成されました。このワークショップは平成 17 年 11 月～平成 18 年 9 月にかけて合計 7 回開催され、活発な話し合いが行われました。

ワークショップの概要

回数	開催日	実施概要
第 1 回	H 17 . 11 / 12 (土)	・ 自己紹介 ・ 宇治駅周辺地区での課題を抽出
第 2 回	H 18 . 1 / 28 (土)	・ よく使う施設や経路の抽出 ・ 基本理念や基本方針のキーワードを抽出
第 3 回	H 18 . 3 / 11 (土)	・ 6 班に分かれてタウンウォッチング
第 4 回	H 18 . 4 / 8 (土)	・ 3 班に分かれて、観光客に宇治駅周辺地区のバリアフリー状況をヒアリング ・ 車いす利用者、視覚に障がいのある方、外国人を招いての観光客タウンウォッチング
第 5 回	H 18 . 6 / 10 (土)	・ タウンウォッチングでの点検結果をもとに、宇治駅周辺地区での課題を 3 つに分類 (かたち、しくみ、こころ)
第 6 回	H 18 . 7 / 8 (土)	・ かたち、しくみ、こころの 3 班に分かれて、市民ができることを話し合い、取り組み内容 (プロジェクト) を作成
第 7 回	H 18 . 9 / 2 (土)	

3 . 宇治駅周辺地区の課題について

3-1 取り組み概要

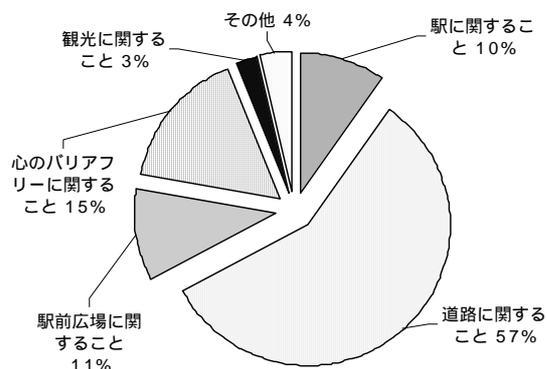
第1回宇治駅周辺地区交通バリアフリーワークショップでは、普段、市民がバリアフリーについて考えていることについて話し合いました。

第1回ワークショップ	
開催日	平成17年11月12日(土)
参加者数	31名
会場	生涯学習センター

3-2 話し合いのまとめ

宇治駅周辺地区で日頃感じていることについて、多くの意見があげられました。

特に「道路」と「こころのバリアフリー」に関する意見が多く、「観光とバリアフリー」など、観光施設が立地する宇治駅周辺地区ならではの意見がありました。



駅に関する事

下りのエスカレーターも必要だと思う。
京阪宇治駅入り口のエレベーターの位置がわかりにくい。

道路に関する事

歩道が整備されていない道路が多く、危険である。
車を一方通行規制するなど、人と車そして自転車も含めて空間の使い方を考え直す必要がある。
歩道が狭すぎて、車いすやベビーカーでは通りにくい。
点字ブロックがあると方角が定まりやすく、盲導犬に指示が出しやすい。
歩道の段差、路面の凹凸、溝蓋の隙間などの問題がある。
歩行者が渡る青時間が短いと感じる交差点がある。
商店街や施設まで駐停車している車が多くて歩きにくい。

駅前広場・駅周辺に関すること

駅周辺の案内が不十分だと感じる。音声案内のようなものを設置すると視覚障がい者、高齢者、旅行者など便利だと思う。

京阪宇治駅前広場にはトイレを設置してほしい。

京阪三室戸駅では改札を出てすぐに踏切を渡る必要があり不便を感じる。

心のバリアフリーに関すること

障がい者用駐車スペースに業務営業者の車や健常者の車が駐車している。

自転車の並列走行や携帯電話を扱いながらの走行など自転車の通行マナーが悪い。

ベビーカーと荷物を持って階段を移動する時は手助けしてほしい。

市民がルール・マナーを守ることで、だいぶ状況は良くなると思う。

道に空き缶、ビンが落ちているので危ない。

介助犬が市民権を得て、公共の施設を出入り出来るようになって良かった。

市民の障がい者に対する理解が深まりつつある。

観光とバリアフリーに関すること

バリアフリーと観光客との関わりを考えるべきである。

観光地へ行く経路で、バリアフリー化されていないところがある。

その他

JR宇治駅北側地区のバリアフリー化を考える必要がある。

部分的なバリアフリーではなく、つながりのある計画を立ててほしい。



第1回ワークショップのようす

～ 委員会への提案 ～

第1回ワークショップでの意見を整理し、宇治駅周辺地区の主な課題として委員会に提出しました。基本構想《素案》では、以下の項目が宇治駅周辺地区の課題として盛り込まれました。

～ 宇治駅周辺地区の主な課題 ～

（課題 - 1）各駅の利用しやすさの向上

京阪三室戸駅では車いす使用者がトイレを利用できないなどの課題があり、バリアフリー設備の整備が必要です。

JR宇治駅、京阪宇治駅ではエレベーターや多目的トイレの整備など一定のバリアフリー化が図られていますが、エレベーターの位置案内や外国語表示も含めた案内誘導施設の充実など、バリアフリーからユニバーサルデザインの視点で、すべての人の利用のしやすさの向上が望まれます。

（課題 - 2）駅前広場等のバリアフリー化

JR宇治駅、京阪宇治駅ではバスターミナル機能をもつことから、駅前広場の利用のしやすさの向上が必要です。

案内誘導施設の充実や京阪宇治駅前広場では多目的トイレの設置などが望まれます。

（課題 - 3）歩行空間（歩道）の確保とバリアフリー化

幹線道路を中心に歩道が整備されていますが、歩道のない経路についても商店街など利用者の多い経路があり、歩行空間の確保が課題となっています。

既に設置されている歩道についても、路面の凹凸や急勾配の箇所があるなど、歩行空間のバリアフリー化の課題が残っています。

（課題 - 4）さまざまな利用者を想定したアクセス機能のバリアフリー化

世界遺産である平等院、宇治上神社をはじめとする歴史文化施設が集積し、市外からの観光客が多い地区です。このため、施設への経路案内の充実や回遊動線の確保などが必要です。

市の「中枢拠点」として、官公庁施設をはじめ医療・福祉施設など多数の施設が集積しています。このため、市内各地からのアクセスを考慮したバリアフリー化が必要です。

（課題 - 5）ソフト的な施策によるバリアフリーの推進

歩道が整備されていても利用者のマナー不足がバリアとなります。一方、歩道が未整備であっても、利用者の気づき合いと支え合いでバリアは低減されます。市民一人ひとりがバリアフリーについて理解し、協力する“心のバリアフリー”の推進が必要です。

来訪されるすべての人がまちを楽しめるよう、案内情報のバリアフリー化が必要です。トイレマップなど情報提供ツールの充実や観光ボランティアによる案内など、ソフト的な対応による案内情報のバリアフリー化に取り組む必要があります。

4 . 宇治駅周辺地区の主要な施設と経路の抽出

4-1 取り組み概要

第2回ワークショップでは、宇治駅周辺地区において多くの人々が利用すると思われる施設と経路を抽出しました。また、バリアフリー化を進めていく上での共通の理念（目標イメージ）についてキーワードを出し合いました。

第2回ワークショップ	
開催日	平成18年1月28日(土)
参加者数	31名
会場	ゆめりあうじ

4-2 話し合いのまとめ

主要な施設と経路

施設および経路の抽出については、“生活する上で重要なもの”と“観光レクリエーションの上で重要なもの”の2つに分類して抽出を行いました。抽出された経路は以下の3つのタイプに分類されます。

- ・ 地区の主軸としての経路（市道宇治白川線、市道宇治橋若森線など）
- ・ 観光動線としての経路（府道平等院線、市道乙川三番割線など）
- ・ 商店街としての経路（府道宇治停車場線、府道宇治淀線など）



第2回ワークショップのようす

共通の理念（目標イメージ）

3班の共通した候補としては、『バリアフリーに関するもの』と、『地域特性に関するもの』があげられました。

《バリアフリーに関するもの》

歩行者を優先する意見が多く、生活する人、まちを訪れた人すべての人が快適に活動できるようなまち・みちづくりをイメージしました。

主なキーワード：『安心』 『安全』 『やさしい』 『心の通った』
『心のバリアフリー』 『行きたいところへ行ける』
『住みやすい』 『生活しやすい』 『段差のない』
『障害物のない』 『人が優先』 『歩行者優先』
『ハンデを克服できる』 『楽しく暮らせる』 『歩きよい』
『交通弱者を出さない』 『思いやり』 『全てのひと』 など

《地域特性に関するもの》

世界遺産のある都市としての特色を活かす意見が多く、人のみならずまち全体がやさしさでつつまれるようなまちづくりをイメージしました。

主なキーワード：『観光のまち』 『歴史のまち』 『歴史と伝統』 『観光案内』
『歴史が感じられる』 『世界に誇れる遺産』 『世界遺産』
『お茶の薫る』 『宇治茶のまち』 『緑のまち』
『源氏物語』 『源氏が恋したまち』 『再び訪れたくなるまち』 など

～ 委員会への提案 ～

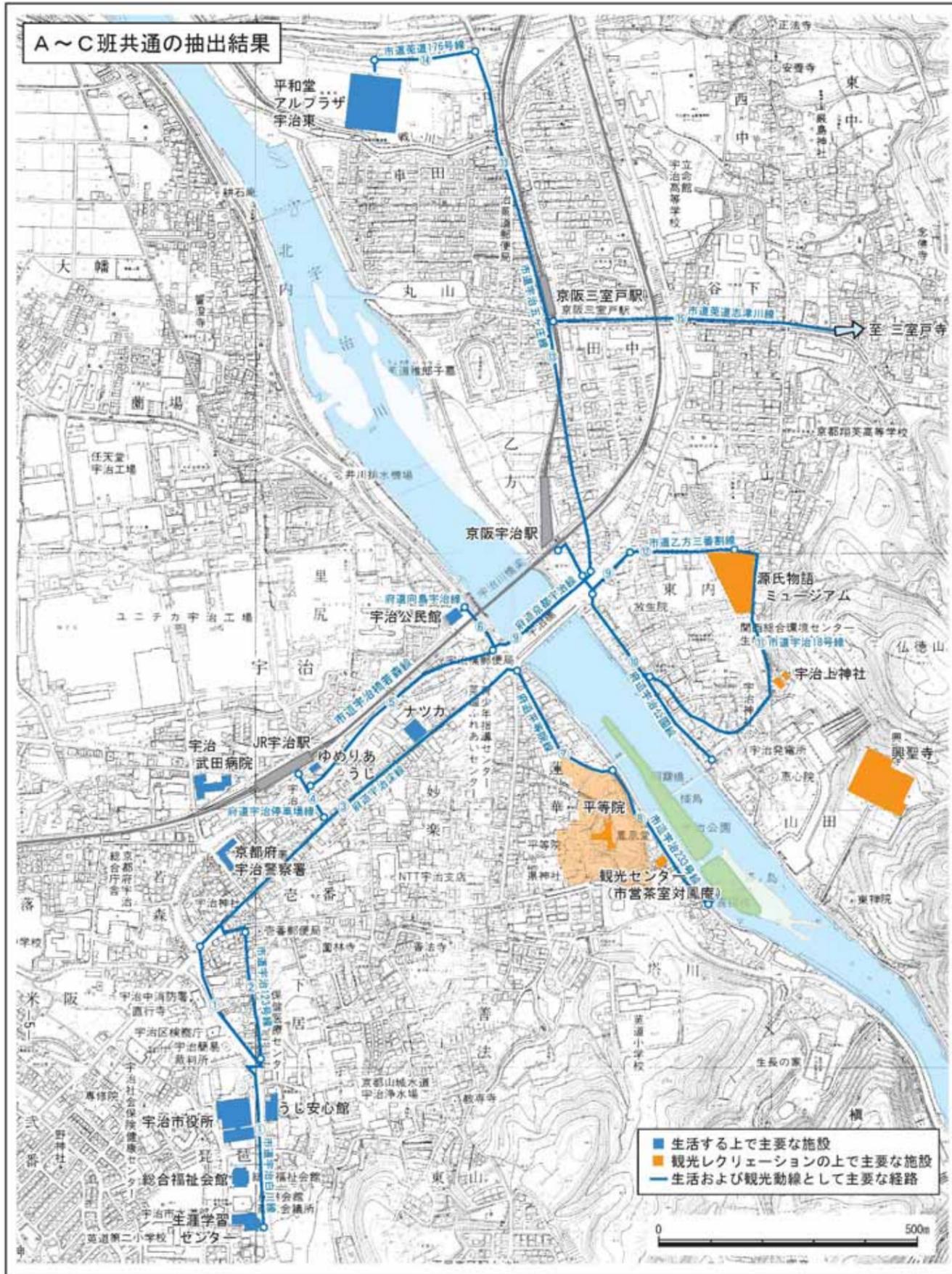
第2回ワークショップでの意見を整理し、主要施設と特定経路、基本理念案を委員会に提案しました。委員会ではこれらの候補案をもとに話し合われ、基本理念や特定経路等が定められました。

【基本理念】

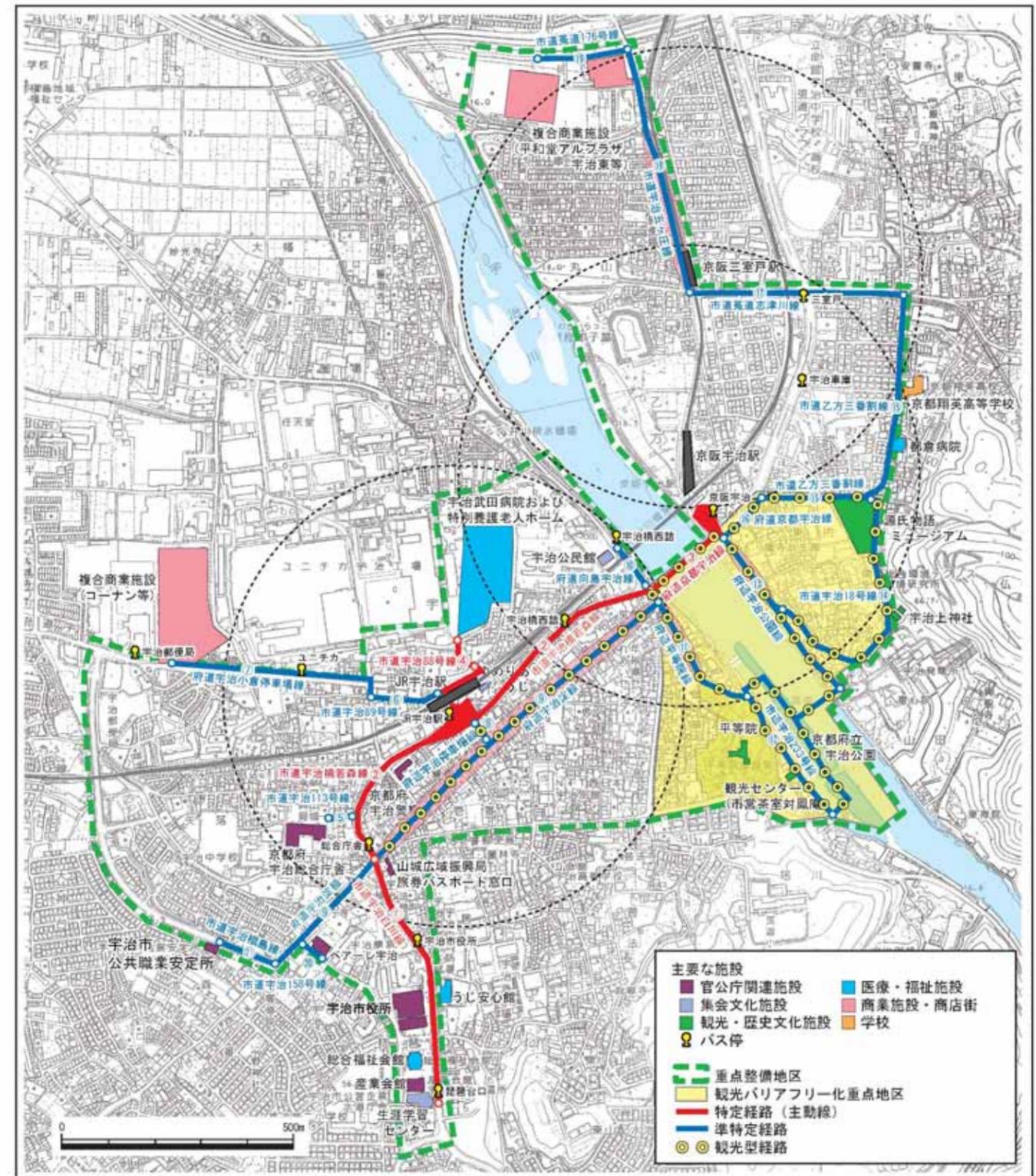
すべての人が安全、安心、快適に活動できる“キラッと光る宇治のまち”
生活する人、まちを訪れた人すべての人が安全、安心、快適に活動できるまちを目指します。
そして、まちが輝き、人が生き生きと輝くことを実現していきます。

宇治といえば『源氏物語』。源氏物語といえば『光源氏』。ワークショップで提案されたこのキーワードをもとに、『キラッと光る』という表現を基本理念に取り入れました。

ワークショップで抽出した主要な施設と経路



委員会で決定した主要施設と特定経路



5 . 宇治駅周辺地区の点検調査

5-1 取り組み概要

第3回ワークショップでは、6つのコースに分かれてタウンウォッチングを行い、それぞれが点検した施設等のやさしいところ、やさしくないところを記した問題点マップを作成しました。

第3回ワークショップ	
開催日	平成18年3月11日(土)
会場	ゆめりあうじ

コース	点検箇所	参加人数	合計
1	京阪宇治駅、京阪三室戸駅	7名	40名
2	京阪宇治駅前広場、京阪宇治駅周辺道路	7名	
3	宇治川周辺観光ルート	6名	
4	J R 宇治駅から宇治公民館への経路	6名	
5	J R 宇治駅から宇治市役所への経路	7名	
6	J R 宇治駅・南北駅前広場	7名	

5-2 話し合いのまとめ

駅舎・鉄道車両

券売機の蹴り込みが浅いこと、電車の乗り場（優先座席の位置など）の位置が明確でないこと、洋式トイレの設置やホームと電車の隙間などといった問題があげられました。

バス・バス停

時刻表の内容や文字の大きさ、バス停にバスがきちんと寄りついていないため乗り降りに段差が生じるなどといった問題があげられました。

道路

幅員の狭さ、歩道上の障害物、路面の凹凸、路上駐車や車両の進入などといった問題があげられました。

駅前広場

トイレのドアの重さ、洋式トイレの未整備、舗装と点字ブロックの配色などといった問題があげられました。

横断歩道

赤信号時に車が停止線を越えていること、信号待ちのスペースがない(狭い)横断歩道の設置の仕方などといった問題があげられました。

信号機

音響信号の整備や青時間の延長が望まれています。また、音響信号が整備されていても、騒音で信号音が聞こえづらいといった問題もあげられました。



コース 1



コース 2



コース 3



コース 4



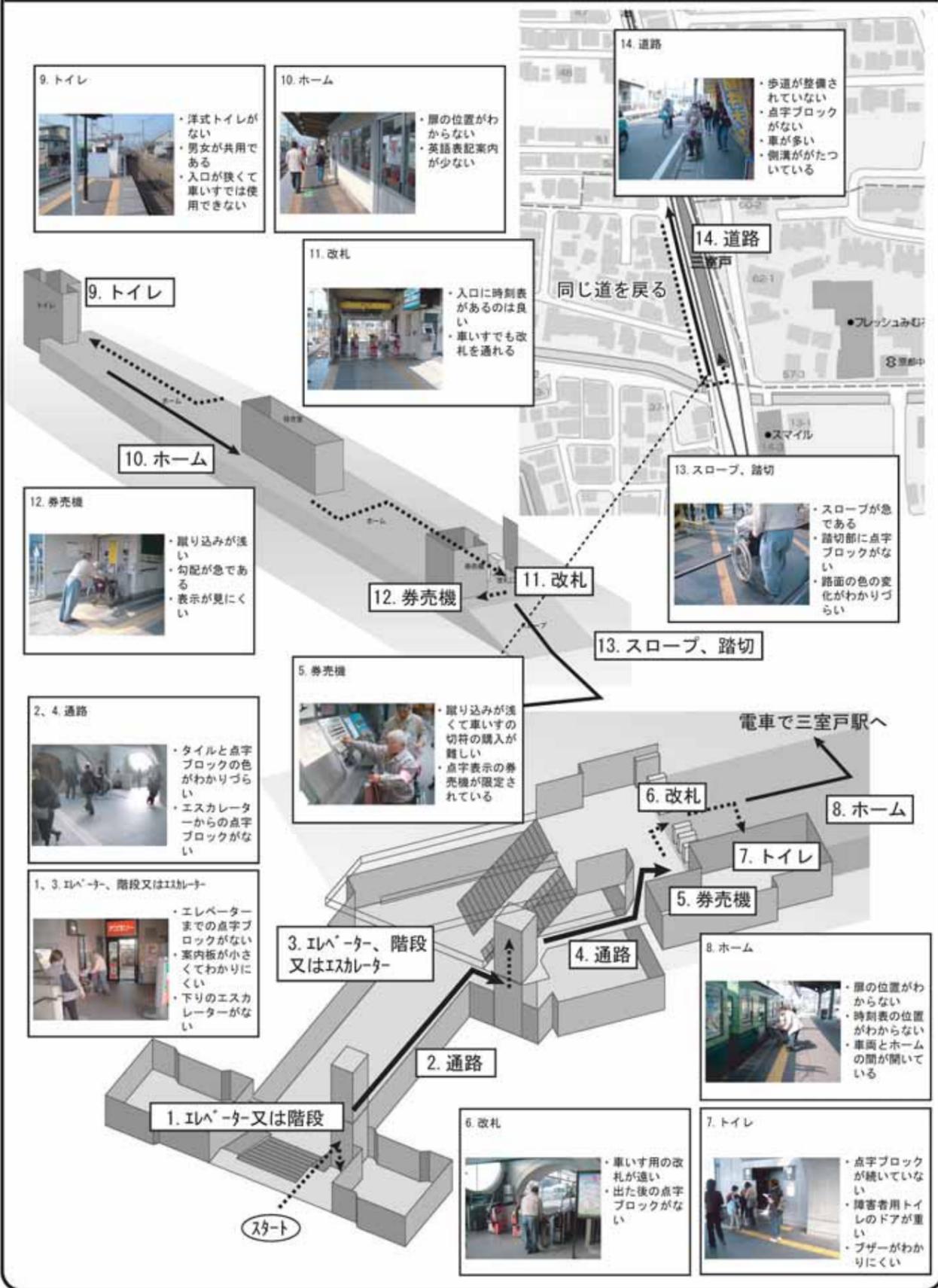
コース 5



コース 6

駅舎の問題点マップ

問題点マップ (コース1)



道路の問題点マップ

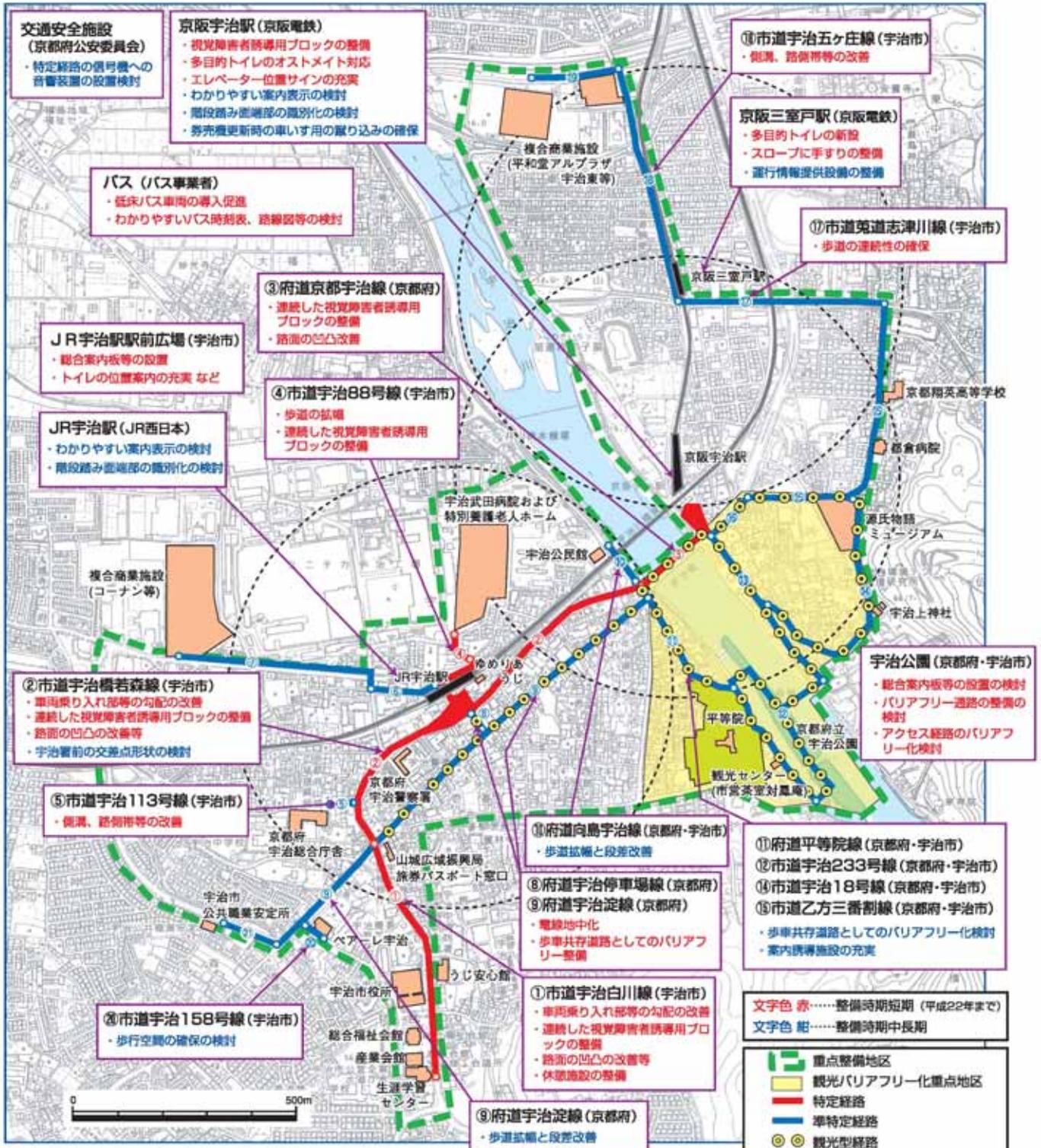
問題点マップ (コース5)



～ 委員会への提案 ～

タウンウォッチングでの問題点を整理し、宇治駅周辺地区における現状の問題点として委員会に提出しました。

委員会では、これらの問題点を解決するために、どのような整備を行うべきかが話し合われ、各事業者が行う具体的な整備内容（バリアフリー化事業）が基本構想《素案》に盛り込まれました。



6. 来訪者からみた宇治駅周辺地区

6-1 取り組み概要

第4回ワークショップでは、観光で訪れた人々にアンケート調査を行いました。また、身体に障がいのある方々や、外国人留学生をお招きして、タウンウォッチングを行いました。

第4回ワークショップ	
開催日	平成18年4月8日(土)
会場	ゆめりあうじ

6-2 観光客アンケート

6-2-1 観光客アンケートの概要

平等院、源氏物語ミュージアム、観光センターの3箇所で観光客にアンケート調査を行いました。桜が満開の春の休日にたくさんの方が訪れてくれたため、たくさんの意見を聞くことができました。

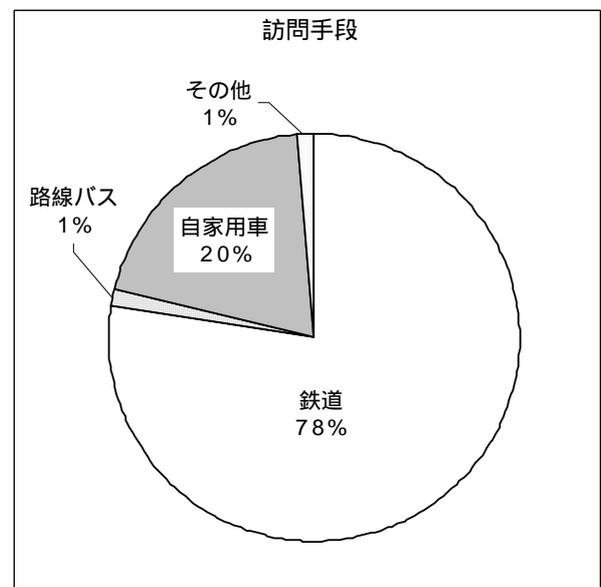
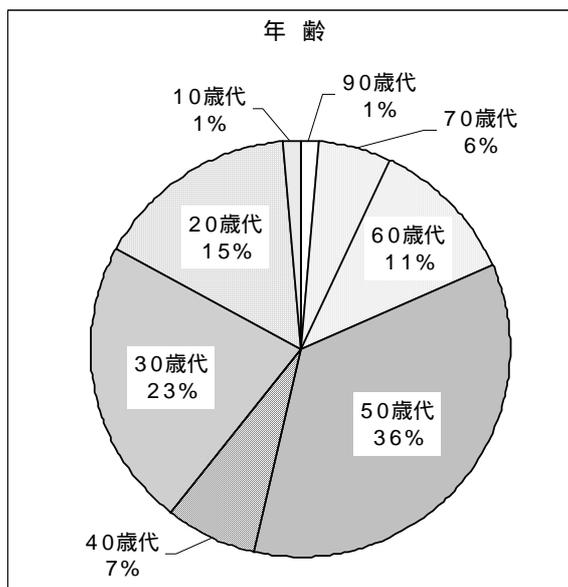
Aグループ(7名)	宇治橋西詰、平等院表参道・平等院北門周辺
Bグループ(8名)	源氏物語ミュージアム、宇治上神社周辺
Cグループ(4名)	観光センター、塔の島喜撰橋周辺

回収サンプル：宇治市外の方から71票 宇治市内の方から23票、合計94票

6-2-3 観光客アンケートのまとめ

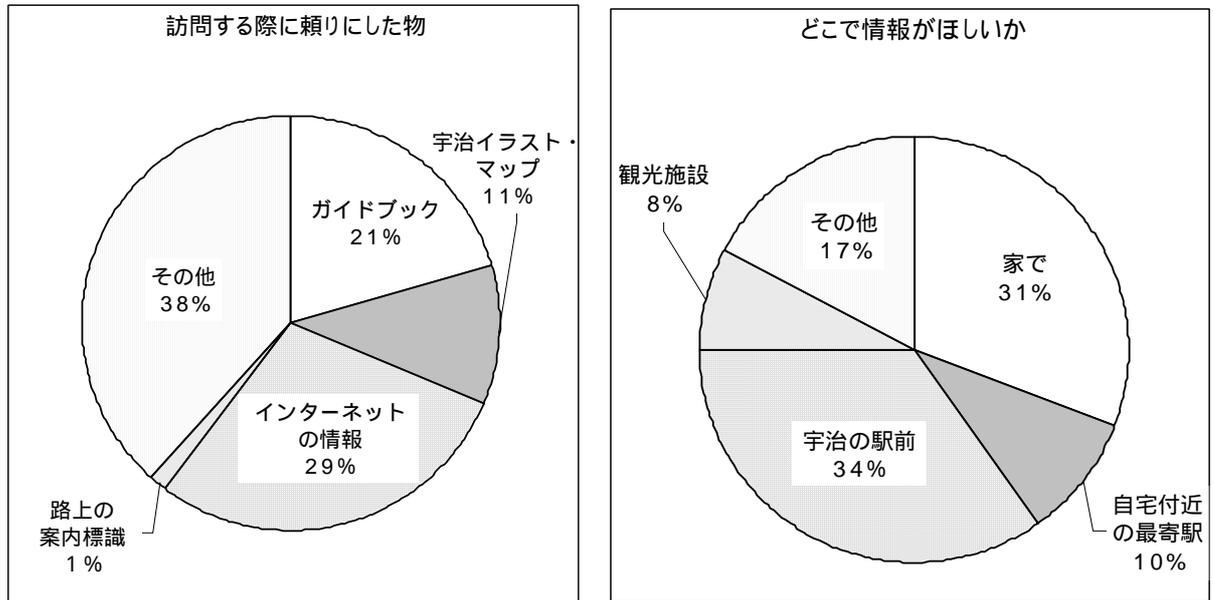
《来訪特性について》

来訪者の多くは、鉄道駅から各観光施設へ徒歩等で周遊していると考えられることから、高齢者のみならず、来訪者にとっても鉄道駅からのバリアフリー化は重要であると考えられます。



《情報提供について》

自宅や宇治の駅前での情報提供の要望が高く、インターネットや駅前での案内情報の充実が課題となっています。



《宇治のバリアフリーについて》

宇治市のバリアフリーについては、次のような問題が指摘されました。

歩行者と自動車の混在する道路や階段などといった経路のバリア

駐車場、トイレなどの施設案内やサインの不足

トイレ、休憩場所などの不足

宇治観光の魅力を向上させるためには、高齢者や身体に障がいのある人、子育て世代の方などすべての人が安全に、快適に周遊し、楽しめるようバリアフリー化整備の推進が課題となっています。

Aグループ



Bグループ

Cグループ



6-3 観光客タウンウォッチング

6-3-1 観光客タウンウォッチングの概要

宇治市外に在住の身体に障がいのある方や外国人の方をお招きしてタウンウォッチングを実施し、感想を聞かせていただきました。実際に身体に障がいのある方や、外国人の方々からの貴重な意見を伺うことができました。

～ Aグループ～【視覚障がい者（全盲）1名、ワークショップメンバー2名】

ゆめりあうじ JR宇治駅 宇治橋通り商店街 平等院表参道 平等院
橋橋 塔ノ島 宇治上神社 源氏物語ミュージアム 京阪宇治駅 ゆめりあうじ

～ Bグループ～【外国人（韓国）3名、ワークショップメンバー2名】

ゆめりあうじ JR宇治駅 宇治橋通り商店街 平等院表参道 平等院
観光センター 喜撰橋 塔ノ島 宇治上神社 源氏物語ミュージアム 宇治橋
ゆめりあうじ

～ Cグループ～【車いす使用者（電動・手動）2名、ワークショップメンバー2名】

ゆめりあうじ JR宇治駅前広場 宇治橋通り商店街 平等院表参道 平等院
あじろぎの道 平等院表参道 ゆめりあうじ

6-3-2 観光客タウンウォッチングのまとめ

視覚に障がいのある人の意見としては、車が多くて一人では歩けないこと、施設案内は建物模型による説明がわかりやすいといったことがあげられました。

外国人観光客の意見としては、英語標記などの施設案内が不足しているといった問題点があげられました。

肢体に障がいのある人（車いす利用者）の意見としては、ブロック舗装による車いすへの衝撃、トイレ案内の不足といった問題点があげられました。



Aグループ



Cグループ



Bグループ

7. 宇治駅周辺地区の交通バリアフリーに市民が協力できること

7-1 取り組み概要

第5回ワークショップでは、タウンウォッチングの結果をもとに、宇治駅周辺地区での問題点を「かたち（ハード）」、「しくみ（体制やルール）」、「こころ（ソフト）」に分類しました。

第6～7回ワークショップでは、この分類した問題点の解決にむけて、市民が取り組めることについて考え、《市民が取り組むプロジェクト》を作成しました。

	第5回ワークショップ	第6回ワークショップ	第7回ワークショップ
開催日	平成18年6月10日(土)	平成18年7月8日(土)	平成18年9月2日(土)
参加者数	21名	20名	25名
会場	ゆめりあうじ		

7-2 話し合いのまとめ

かたち（ハード）について

すべての人が“わかる”“使える”をテーマにプロジェクトを考え、施設案内の整備や危険箇所の点検調査などを提案しました。

しくみ（体制やルール）

バリアフリーに関する相談や解決をテーマにプロジェクトを考え、NPO法人を活用した市民組織づくりなどを提案しました。

こころ（ソフト）

市民サポートによる“歴史観光都市のバリアフリーモデル”の実施をテーマにプロジェクトを考え、バリアフリーマップの作成やサポート技術講習会の開催などを提案しました。



第5～7回ワークショップのようす

「かたち」のプロジェクト

信号

交差点横断（信号）に関する問題
音響信号聞きづらい、音の種類

音響信号の整備
（宇治橋西詰、御旅所（GS前）、
京阪宇治駅）
信号の増設

トイレの整備に関する問題

トイレの整備に関する問題
洋式トイレが少ない

駅、トイレ、観光施設に関する
問題

案内標識の充実
（平等院、宇治上神社、源氏物語ミ
ュージウム、塔ノ島、市役所、植物
園、太陽ヶ丘、消防署等々）（トイ
レ、休憩所、バス乗り場）

照明（夜間）暗い。
各家庭の外灯の点灯運動（時間限定）

新たな設置ではなく、各家庭にて
点灯する。意識啓発も兼ねて。

観光客だれでもわかる案内板
お茶にからめて・・・
だれにもわかるお茶のまち（宇治）
茶の香施設のプロジェクト
ウォーキングしたくなるうじの道
みんなで歩ける宇治のみち
一度きたらまた来たくなる観光宇治のまち
浮舟もあるいたみち
宇治のまちは歩行者にわかりやすい観光のみち
安心・安全宇治のみち
紫式部も歩いたみち
ウジ（うじ、宇治）グリーンロード

歩道・道路

歩道に関する問題
段差、傾斜、危険な場所の表示が
できたら・・・

歩道等の道路構造に関する問題

バス停に関する問題
バスが寄りつかない

現況道路の改善
グレーチング網目の統一（小）
歩道の整備（狭い、歩道がない）
段差、傾斜

道 障害者
歩 ・幅員の狭さ
・坂道の勾配（下り）
・横断勾配

バス停に関する問題
バスの時刻表の文字が小さか
ったり、時刻表が見つからなか
ったりする表示の問題。
特に高齢者など

電動カートに乗ると歩道が狭いの
で困る

歩道構造に関する問題
段差

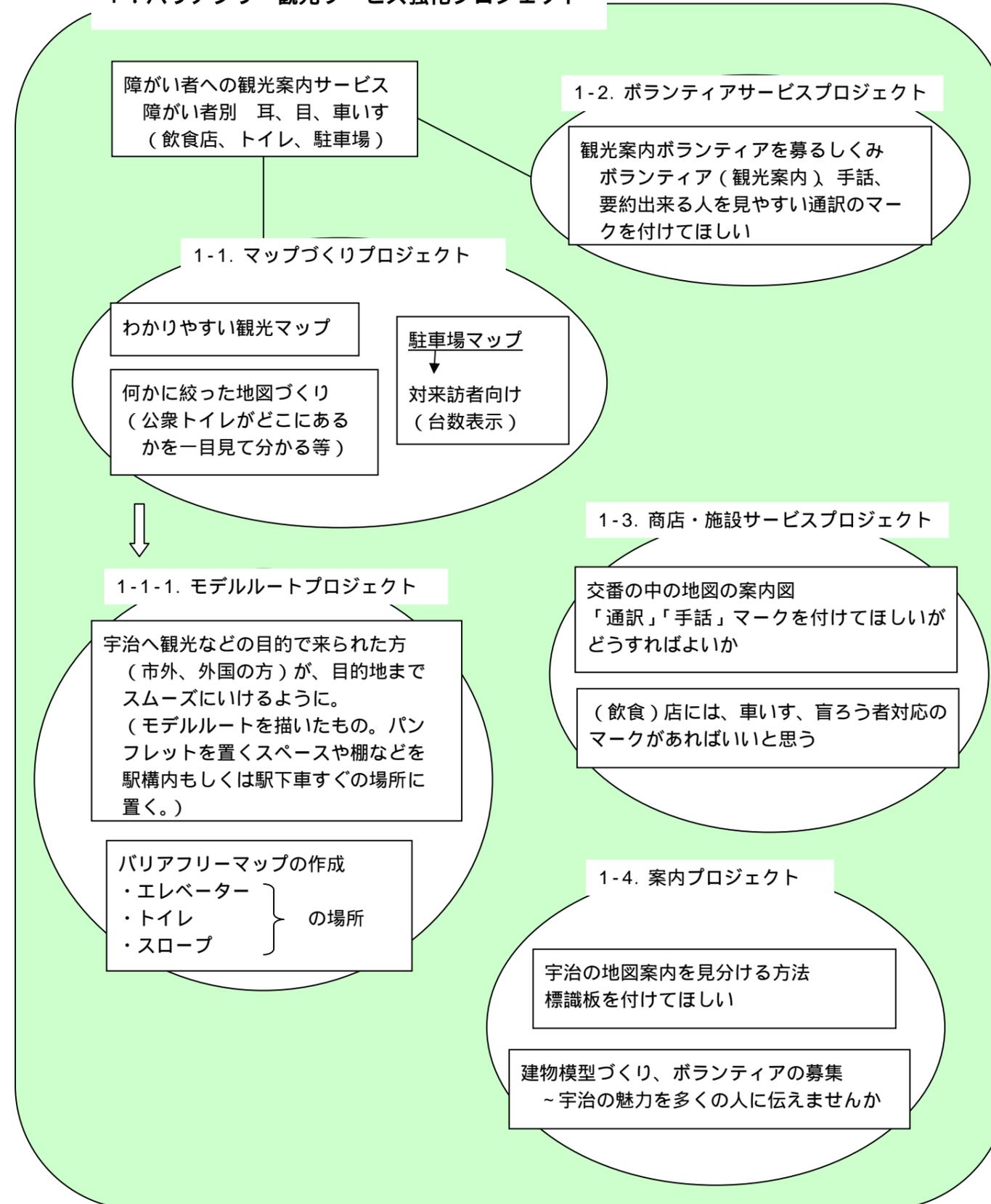
バス停の位置変更
バス停がある為、歩道が狭く
なる
位置を考える

歩行空間の確保に関する問題
（歩行者と自動車が混在している）
・宇治橋通りの車の駐車
・ナツカの勾配

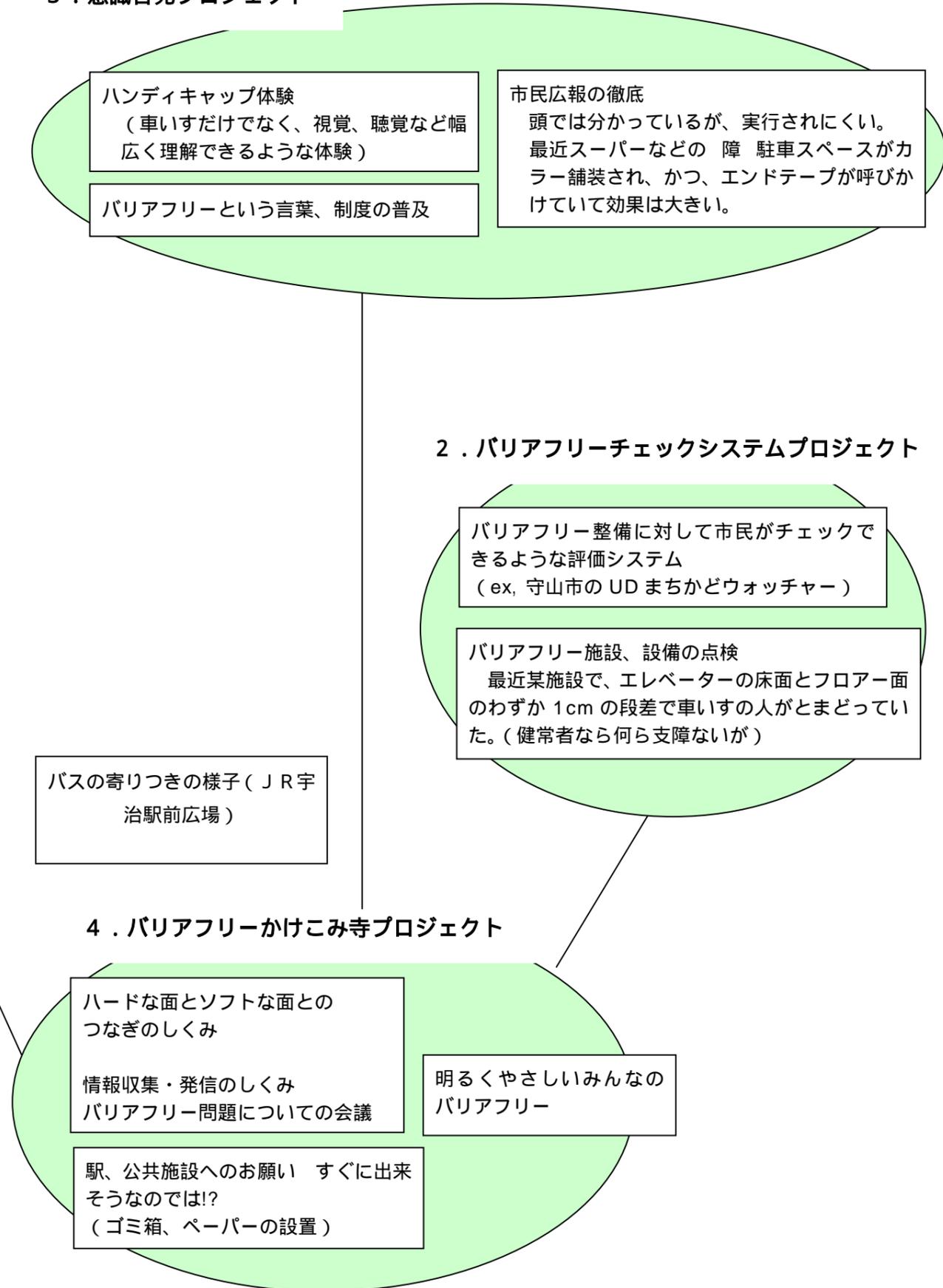
歩道空間の確保に関する問題
商店街の車道（歩車共存）
歩行者専用

「しくみ」のプロジェクト

1. バリアフリー観光サービス強化プロジェクト



3. 意識啓発プロジェクト



《市民が取り組むプロジェクトシート》

かたち

プロジェクト名		一度来たらまた来たくなる宇治のまち	
対象者	・市民全員 平等に！！		
目的	・だれもが“わかる”“使える”施設づくり		
プロジェクト行動計画	ステップ1	<ul style="list-style-type: none"> 案内板をどこにつければよいか 建物内の施設チェック (主にトイレ)) 現状調査
	ステップ2	<ul style="list-style-type: none"> 案内板のデザイン作成 (どうすればわかりやすいのか) 各業者 (パチンコ屋など) のトイレ使用の協力よびかけ 観光案内ボランティアの配置 駅内の案内の箇所抽出 (バス停) 	
	ステップ3	<ul style="list-style-type: none"> 案内表示の要望 	

《市民が取り組むプロジェクトシート》

かたち

プロジェクト名		安心 安全 うじグリーンロード	
対象者	・市民全員 平等に！！		
目的	・だれもが安全に通行できる道づくり		
プロジェクト行動計画	ステップ1	<ul style="list-style-type: none"> 傾斜、凸凹、幅員、段差、グレーチング 信号 音響信号の有無、青時間、音の種類 街灯の有無) 現地調査
	ステップ2	<ul style="list-style-type: none"> 危険箇所の抽出 (マッピング) 障がい者へのヒアリング、アンケート (聞き取りやすい音など) 街灯の一定時間の点灯の呼びかけ (各家庭) 	
	ステップ3	<ul style="list-style-type: none"> 危険箇所箇所の改善の要望 危険箇所の表示の要望 新設箇所への提案、チェック 市民グループでの危険箇所の点検 	

《市民が取り組むプロジェクトシート》

しくみ

プロジェクト名		<p style="text-align: center;">バリアをみんなで解決したい</p>	
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・市民全体 		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・“バリアフリー”に関して、相談したり、解決したりすることのできる市民組織づくり 		
プロジェクト行動計画	ステップ1 <small>今すぐ取り組めること</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・ バリアフリー整備のチェック(整備計画内容という事前、実際どのように整備されたかという事後)(ボランティアを通して) ・ 苦情、要望の現状把握 市民レベルでの解決可能性 ・ 行政サポートによる会議(組織)の立ち上げ、継続 ・ 既存の市民活動グループの実態 	
	ステップ2 <small>取り組んでいけること</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア参加の動機付けの仕組み ポイント制表彰 ・ 市民が誰でも集める喫茶店、居酒屋などの場所づくり ・ 組織の実績づくり(バリアフリーチェック・メンテナンスチェック)そういった活動広報 ・ 組織づくり NPO 法人 	
	ステップ3	<p style="text-align: right;"> 相談: → 要望: → 回答: → </p> <p style="text-align: center;"> 市民 市民G 団体 </p> <p style="text-align: center;"> 市民組織 専門家・学生 …… (NPO) 市民の相談窓口 </p> <p style="text-align: center;"> 行政事業者等 </p>	

《市民が取り組むプロジェクトシート》

こころ

プロジェクト名		<p style="text-align: center;">車いすサポート大作戦</p>	
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車いすを必要とする人(足の不自由な人、高齢者など) <p style="text-align: center;">特定しない</p>		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民サポートによる “歴史観光都市のバリアフリーモデル” をつくる ・ だれでも歴史的な観光を楽しめる、楽しむ人を増やしたい! 		
プロジェクト行動計画	ステップ1	<ul style="list-style-type: none"> 事前調査(貸し出し車いす調査、車いすで行ける範囲、お店など) 関係者(観光ボランティア、商工会、観光協会、市)への働きかけ 利用者ニーズを聞く(障がい者団体へのヒアリング) 	
	ステップ2	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリーマップの作成 モデルルート提案 検討組織の立ち上げ サポート技術講習会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ↳ サポートステッカーの発行など 	
	ステップ3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車いすサポートの広報(HP、JR、旅行会社等への広報) 	

《市民が取り組むプロジェクトシート》

プロジェクト名		点字メニュー大作戦	
対象者	・目の不自由な人		
目的	点字の情報提供を充実する 点字メニューを増やす		
プロジェクト行動計画	ステップ1	<ul style="list-style-type: none"> ・協力してもらえるお店を探す ・点字かに協力してもらえる人を探す 	
	ステップ2	<ul style="list-style-type: none"> ・点字メニューを設置する ・協力店の表示（看板など）をする 	
	ステップ3		

《市民が取り組むプロジェクトシート》

プロジェクト名		文字情報大作戦	
対象者	・耳の不自由な人		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・文字情報を充実する ・手話サービスを充実する 		
プロジェクト行動計画	ステップ1	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の文字、地図の情報をチェックする 	
	ステップ2	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前での案内方法、内容を考える、提案する 	
	ステップ3		

～ 委員会への提案 ～

第4～7回のワークショップを整理し、わかりやすい情報提供の必要性や、市民が取り組めるプロジェクトを委員会に提案しました。基本構想《素案》では『サイン整備に関するプロジェクト』と『歴史観光都市バリアフリーモデルに関するプロジェクト』が盛り込まれました。

サイン整備に関するプロジェクト バリアフリー化事業

すべての人にとってわかりやすい情報を提供するためには、駅舎、バス停、道路などのサインを一定の共通ルールに基づいて整備していくことが大切です。

利用する人の立場に立った整備を行うために、住民参加型で検討を行っていきます。

関係事業者共通の総合サイン整備計画の策定

- ・ 住民参加によるサイン整備指針の策定（宇治市）

歴史観光都市バリアフリーモデルに関するプロジェクト ソフト施策

交通バリアフリーを実現するためには、物的な整備だけでは実現しません。一人ひとりの理解と協力を得ることが大切です。

市民による歴史観光都市バリアフリーモデルの実施

- ・ バリアフリー関連情報マップの作成等（市民・宇治市）
- ・ 点字メニューの作成、設置等の検討（市民・商店会）
- ・ 観光サポートボランティアのしくみやサポート技術講座の開催等の検討
（市民・観光協会）